

作成（2025 年度）

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	安藤 秀哉
所属機関名	生命科学部 生物科学科
職位	教授
在籍年	14 年

教育の責任

社会に出て行く学生が、技術者として世の中に役立つ仕事ができるように、基礎知識の習得とともに、自ら考えて独自のアイデアを創造する自走力の育成を心掛けている。

教育の理念

技術者が行う教育の一つの役割に、自分たちが長年培ってきた仕事上の経験やノウハウを次の世代へ伝えることがあると思う。自分が悩みながら学んで来たことを伝えることで、学生たちがそれらを参考にして、考えるヒントになればよいと思う。

教育の方法・方針

学生が研究を進めるにあたり、これまでの研究の情報や背景が正しく把握できているかを、調査方法の妥当性も含めてゼミで確認してコメントしている。また、英論文の抄読会を通じて、論文の読解力向上とプレゼンテーション能力の訓練を行っている。

学生達には、社会へ出てから研究者、技術者として皆に信頼される仕事ができるように、情報の収集や分析などの基本的な研究の進め方をしっかり学んでもらいたい。

教育の成果

私は長年化粧品会社の研究員をしてきた。日々の研究活動を通じて、多くのゼミ生（特に修士学生）が研究職に興味を持ち、化粧品会社の研究所へ就職している。また、修士学生だけでなく、学部学生も含めて、学会や研究会で発表した経験を持っているため、社会へ出てからのプレゼンテーションに役立っていると思う。

今後の目標

自分自身が定年間際の年齢ということもあるが、年々教育活動に費やすエネルギーの低下を感じている。これは学生の不利益につながることもあるので、残された時間はもう一度初心に帰って、学生と共に創造的な研究活動をしようと思う。

根拠資料

- ・学生がファーストオーサーの学会発表あり。 ・学生との共著論文有り。
- ・化粧品に興味を持てた、との記載がある授業アンケートあり。